

てんたかく特報

令和2年7月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

～「R2 JAなのはな米品質向上運動」実施中～
なのはな米1等比率95%以上!!

**カメムシ類が多発しています！
防除を確実に行いましょう!!**

雑草地におけるカメムシ
生息密度調査結果

確認地点率：89%

※6月25日調査
なのはな農協管内18地点

<今後の管理のポイント>

“斑点米カメムシ類多発”注意報発令(7月6日)

1 草刈りの徹底

6月25日に農協管内の雑草地でカメムシ類を調査したところ、平年より多いカメムシ類が確認されました(平均8.6頭/地点)。

斑点米の発生を防止するため、エサとなる雑草の穂が出ないように草刈りを徹底しましょう。



2 病害虫防除 ～出穂状況を確認し、遅れずに防除しましょう!～

早生の「てんたかく」は、そろそろ出穂期を迎えています。

(5月4日頃田植えの場合、出穂期は7月17日頃)

適期防除を徹底し、斑点米の発生防止に努めましょう。

○てんたかく本田防除の目安

	防除時期(7/17出穂の場合)		主な対象 病害虫	農薬名	10a当たり 散布量
	生育 ステージ	時期の目安			
粉 剤 ・ 液 剤	穂揃期	7月19～21日頃 (出穂3～5日後頃)	いもち病 カメムシ類	ビームキラップジョーカー粉剤 DL ビームキラップジョーカーフロアブル	3～4kg 1,000倍150ℓ
	傾穂期	7月26～28日頃 (穂揃期防除の7日後頃)	カメムシ類	トレボンスター粉剤 DL トレボンスターフロアブル	3～4kg 1,000倍150ℓ

カメムシ類対策として確実に防除しましょう。

《留意事項》

- ・田植日等により出穂期が異なるので、防除前に必ずほ場の出穂状況を確認しましょう。
- ・農薬の使用基準を守るとともに、農薬飛散防止のため、風のない時に散布しましょう。

3 水管理

幼穂形成期以降、出穂期までは**飽水管理**で稲の活力を維持しましょう。

また、出穂期から20日間は**湛水管理**を行いましょう。